

わたしたちのコーポラル・マイムでは表現のための身体器官の優先順位は、まず
胴体、次に腕と手、最後に顔である。胴体のどこが好ましいのか？
答えはこうだ - 表現器官として胴体は大きく顔は小さい。胴体は重く腕は軽い。

「マイムの言葉-思考する身体」 エティエンヌ・ドゥクルー 1998年 ブリュッケ
p.102 顔と腕にくらべて胴体が優先する 1962年

